

めっちゃええやん 福祉の仕事

～あきらめない実践を語り合い 希望のあかりで照らし出そう！～

主催:21 世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

TEL:06-6170-1325

FAX:06-6170-1355

メールアドレス roufuku@siren.ocn.ne.jp



21・老福連 第17回職員研究交流集会 in 神戸

日にち

2017 年 12 月 9日(土) 10日(日) 11 日(月)

会場

神戸市勤労会館 (神戸市中央区雲井通 5-1-2)

参加費

3 日間 10,000 円 2 日間 9,000 円 1 日間 7,000 円
一般市民の方は記念講演のみ無料

後援

兵庫県、神戸市、認知症の人と家族の会兵庫県支部

兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会

兵庫県老人福祉事業協会、神戸市老人福祉施設連盟

お問い合わせ

現地実行委員会事務局

社会福祉法人きらくえん 高齢者総合福祉施設 あしや喜楽苑

TEL:0797-34-9287/FAX0797-34-9292

メールアドレス k-kobayashi@kirakuen.or.jp

わんこず 0 0 0 0
にゃんこず 1 2 0 1

参加の呼びかけ



私たち「21 世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」（略称：21・老福連）は実践交流と連携をめざした老人福祉の連絡組織として、2001 年に発足いたしました。発足にあたって

①介護保険導入の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立を目指すとともに、真の高齢者福祉、介護保険の在り方について実践を含めた意見交換を活発に行う

②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する

③老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し積極的に進める
これらを目標に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

この集会は上記の目的に沿った三日間で構成されています。その中でも分科会は、参加者が仕事への誇りを持ち、勇気と元気を得ることを目的にしています。単なる事例発表ではなく、一日をかけて参加者全員がテーマに沿って本音で語り合い、今後の豊かな援助実践につなげる内容となっています。高齢者福祉に携わる全国の仲間と一緒に学びを深めて、希望と元気を持ち帰れる職員研究交流集会となるよう、多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

日時

2017 年 12 月 9 日(土) 13:00～17:00
10 日(日) 9:00～16:30
11 日(月) 9:30～12:00

会場

神戸市勤労会館 （神戸市中央区雲井通 5-1-2）
[1 日目夜 交流会・・・ ザ・マーカススクエア神戸]

参加費

3 日間 10,000 円 2 日間 9,000 円 1 日間 7,000 円
一般市民の方は記念講演のみ無料
[1 日目夜 交流会・・・ 9,000 円]

主催

21 世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会
TEL 06-6170-1325 FAX 06-6170-1355
メールアドレス roufuku@siren.ocn.ne.jp

申込み方法

本要項の後半ページ、～参加・宿泊等のご案内～をご確認の上、「参加申込書」に必要な事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申し込みください。

- 一般参加者（記念講演のみ）は申込み不要です。
当日先着順となります。



テーマ

めっちゃええやん 福祉の仕事

～あきらめない実践を語り合い 希望のあかりで照らし出そう！～

目的

私たち、21・老福連が主催する「職員研究交流集会」は、「豊かな援助実践と公的福祉制度の確立」をめざし、全国の介護現場で高齢者に向き合い、尊厳ある人生への支援を多様に行い、優れた援助実践を持ち寄り、交流し、全国に発信する広場となっています。介護実践に対し、自由に意見を出し合い、褒め合い、交流を深め、元気を共有し合うことが今、大切なのではないのでしょうか。

職員研究交流集会は、介護保険法施行後、そして阪神淡路大震災の復興半ばの神戸の地で第1回目を開催しました。その後、東日本大震災、福島原発事故、熊本地震と続き、人の営みのある所全て、災害との背中合わせだと言えます。「ルミナリエ2017」の期間中です。希望のあかりと異人館、ミナト神戸で介護実践を語り合いあいましょう！次期介護報酬改定に向けて、今を学び合いましょう！

プログラム

1 日目 全体会

12:00～	受付開始
13:00～13:20	歓迎セレモニー 太鼓：大地の会・特別養護老人ホーム 甲寿園職員太鼓サークル和太鼓集団鼓寿（ことぶき）
13:20～13:30	開会挨拶・オリエンテーション
13:30～14:10	基調報告 21・老福連事務局長 正森克也氏
14:15～15:50	記念講演Ⅰ 日本国憲法と社会福祉 ～日本国憲法の輝く社会に 福祉現場で働く職員と憲法～ 愛知県立大学 教育学部 准教授 久保田貢氏
15:50～16:00	休憩
16:00～17:00	リレートーク めっちゃ A-Studio
17:00～17:15	2日目説明（座長・助言者のみ～17:45 打ち合わせ）

*手話通訳あり

交流会

19:00～21:00	神戸名物をはじめとしたホテルメニューをお楽しみ下さい。 福祉従事者として絆を深めましょう。
-------------	--

2 日目 分科会 分散会

9:00～	受付開始
9:30～16:30	分科会・分散会

3 日目 全体会

9:00～	受付開始
9:30～11:30	記念講演Ⅱ 戦争のしくみ 平和について考える フリージャーナリスト 西谷文和 氏
11:30～11:50	閉会・次回開催地挨拶

*手話通訳あり



●基調報告 9日(土) 13:30~14:10**21・老福連 事務局長 正森 克也 氏**

21・老福連は介護保険法が成立した翌年に、全国の施設長36名有志が呼びかけ、介護保険制度が施行された翌年2001年3月に結成総会を開きました。介護保険制度施行から17年、「社会福祉」のあり方を21・老福連の活動の経緯をふりかえりながら、職員研究交流集会の基調報告を行います。

●記念講演Ⅰ 9日(土) 14:15~ 15:50**「日本国憲法と社会福祉—日本国憲法の輝く社会に 福祉現場で働く職員と憲法—」****講師：愛知県立大学 教育学部 准教授 久保田 貢 氏**

平和憲法施行から70年 国民主権・基本的人権の尊重・平和原則など、世界に誇る日本国憲法。いまその原則を変えようとする動きがおこっています。沖縄の基地・大規模の災害と復興・原発・高齢者・子どもへの貧困があります。社会保障・社会福祉も国民の権利と国の義務が憲法に明記されました。憲法の歴史・憲法の役割をしっかりと学び、社会福祉を仕事としている私たちが憲法をしっかりと身につける内容です。

●福祉の仲間のリレートーク 9日(土) 16:00~17:00**めっちゃA-Studio**

「めっちゃええやん 福祉の仕事 あきらめない実践を語り合い 希望のあかりで照らし出そう!」をテーマに、現場で働く職員が集結し、登壇!
「働きがい やりがい 福祉のしごとの魅力や感動」などを熱く語り合います!

●記念公演Ⅱ 11日(月) 9:30~11:30**「戦争のしくみ 平和について考える(仮)」****講師：フリージャーナリスト 西谷 文和 氏**

日本では70年以上に渡り、戦争によって命を奪い・奪われることのない時代が続いてきました。一方、世界ではこの70年、そして今も戦火が絶えません。中東やアフリカ諸国の取材を続けておられる西谷文和さんに、南スーダンなどのお話を伺います。戦争の悲惨さを知り、日本国憲法の理念の重要性を再確認しましょう。また、平和のうちに過ごしてきたかに見える私たちの暮らしについても、(兵器や原発、そしてその輸出など)考える機会となるでしょう。



NO.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
A	施設でその人らしい暮らしを支える	A-1①	豊かな日常生活を支える	その人らしい暮らしを支えることを中心に、日常生活の中で支援の在り方や個別ケアの工夫、認知症ケアの取り組み、医療と介護の連携、最期まで食べることが大切にした取り組みなど、現場での実践事例を持ち寄り学びあいましょう。 ・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み ・その人のQOLからつながるリハビリや外出支援などの取り組み ・排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫の実践 ・チームケア、多職種協働による実践 ・認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践 ・認知症高齢者の尊厳を大切にしたいケアの取り組み ・医療ニーズへの対応と課題 ・感染予防対策の取り組み ・皮膚ケアの充実、褥瘡予防の取り組み ・生活の延長にある看取りケアの実践 ・最期まで食べることが大切にした実践 ・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み ・調理現場における個別対応と調理の工夫 ・サービス機関との連携、地域資源の活用	兵庫 申壽園 施設長 中野 由理	群馬 榛名郡の園 大美賀 亨
		A-1②	豊かな日常生活を支える 【※手話通訳あり】		岡山 中野けんせいえん 施設長 竹永 徹	兵庫 淡路ふくろうの郷 理事長 大矢 運
		A-2	認知症のケアを考える		静岡 芳川の里 施設長 小杉山 敬	愛知 シルバーピアかりや 施設長 早川 昌宏
		A-3	重度化した高齢者への対応 (医療と介護の連携・看取り等)		熊本 たくまの里 施設長 作取 久	調整中
		A-4	食について考える		大阪 いのこの里 部長 佐々木 政布	調整中
		A-5	ケアハウス・有料老人ホーム・サ高住等多様な住まいの機能と役割		愛知 ケアハウスすこやか 副施設長 森田 由美子	宮城 宮城厚生福祉会 介護事業統括責任者 丸田 礼子
	有料ホーム・ケアハウス・サ高住居などの多様な住まいの機能と役割を考える			養護老人ホームの役割と今度の運営について、現状課題や固有の問題について議論しましょう。	大阪 城東養護老人ホーム 施設長 塩見 一弥	岡山 岡山会陽の里 施設長 藤岡 理恵
	養護老人ホームの役割と課題を考える	A-6	養護老人ホーム	・養護老人ホームの在り方、利用者への生活支援 ・精神疾患等のある利用者への支援 ・「外部利用型」の導入など制度転換の実態と対応 ・ショートステイの取り組み ・自治体との連携、低所得者・社会適応困難高齢者の実態		

NO.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
B	在宅生活を支援する	B-1	短期入所の取り組みを中心に	在宅生活を支援するショートステイのデイサービスの役割や課題、地域のネットワーク、医療ニーズの高い利用者への対応についての実践事例を持ち寄り学びあひましよう。 ・ショートステイ、デイサービス特有の課題、難しさ、工夫した取り組み ・認知症高齢者のショートステイ、デイサービスでの支援の工夫 ・デイサービスの役割と求められるニーズの変化、レクリエーション活動等の工夫 ・在宅介護を支える上での家族支援の取り組み、世帯単位での支援の在り方 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・緊急ショートステイの受け入れ（高齢者虐待での対応等）	兵庫 KOBET須磨きらくえん 在宅部長 小林 大洋	千葉 やわら木苑 総合サービス室長 伊藤 裕之
		B-2	通所介護の取り組み		東京 白十字八国苑 施設長 吉田 裕	大阪 結いの里 施設長 阿部 裕一郎
		B-3	困難事例など 地域包括ケアと総合事業	高齢者は地域で暮らし続ける中で、たくさんの生活課題を抱えます。安心して暮らすことができる地域づくり、コミュニティについて、また市町村独自の制度などその人らしい生活が支援できる地域包括ケアの姿について実践例や課題を持ち寄り議論しましょう。 ・地域包括ケアの新たな役割と課題 ・アセスメントとリスク管理、情報共有 ・多問題家族や独居、老老家族など困難事例への取り組み ・障害のある家族支援の取り組み ・総合事業の課題と成果	調整中	兵庫 甲山福祉センター 地域支援コーディネーター 川内 光子
		B-4	在宅を支える訪問事業	（訪問介護、訪問看護、訪問リハ、訪問歯科、訪問入浴） 度重なる制度改定に、利用者・家族の在宅生活は、大きな影響を受けています。看取り、独居認知症高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通して、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。 ・サービス提供責任者の主張・・・「やりがいはあるけど、なんとかしてよ！この現実」 ・生活支援の専門性・・・「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える ・ヘルパーの担う「医療行為」・・・研修制度、事故のリスクなど考えておきたいこと ・この家で最期まで・・・在宅での看取りの実態 ・介護報酬改定においての訪問介護現場での影響と支援	調整中	兵庫 あしや喜楽苑 部長 大西 明美
				（グループホーム・小規模多機能施設） 地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームの在り方、重度化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しましょう。住み慣れた地域で暮らし続けるために「通い」「訪問」「泊まり」のサービスとして、創設されましたが、報酬上での問題や小規模多機能としての役割など、メリットとともに多くの問題が浮かび上がっています。在宅生活を支える取り組みや課題について、実践事例を通して議論しましょう。	京都 生活支援総合センター姉小路 施設長 宮本 武史	島根 ひまわり園 ★調整中★
		B-4	グループホームケア 小規模多機能施設	・グループホームでのケアの在り方、実践、役割、地域とのかかわり ・小規模多機能施設の役割と地域連携、認知症になっても地域で暮らせるための施設の役割 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題		

NO.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
C	安心・安全な生活を考える	C	安心・安全な生活	日常生活の中には多くのリスクが存在します。リスクへの対応をどのように据えるかで、利用者の生活のあり様がかわることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習活動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。 ・発生した事故から学んだこと、再発防止、改善の工夫 ・身体拘束廃止、虐待防止の取り組みと課題、オンブズマンや第三者機関活動の実例 ・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践、高齢者の生活とリスキマネジメントについて ・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼関係づくり、事故対応のマニュアルとその活かし方 職員が誇りと自信をもって元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい8Kが実現できる職場づくりについて話し合います。 ・組織の活性化につながる取り組み、チームワークや協力・連携への課題。・研修制度、職員育成の工夫や悩み。 ・自身の考えや意見を本音でぶつけあい、職場の問題にとりくんだ事例 ・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて ・管理職や上司、他職種とのコミュニケーションについて ・8K（希望・輝き・絆・きづき・きらめき・感謝・感激・感動）を感じた瞬間	京都 ライブリィきぬかけ 事務局長 藤田 隼平	調整中
D	介護の悩みや誇りを語り合おう	D	職場づくり	事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境の中、「実務の要」としての役割がますます重要になっています。また、行政や地域との関係づくりのうえでもその能力を求められています。事務部門の役割について議論を深めましょう。 ・福祉施設における事務部門の役割、他部門との連携の工夫 ・事務、経理、総務事務の効率化、経営データの活用。情報管理の工夫。守秘義務と情報公開の課題。 ・事務部門からみた介護保険制度の問題 ・民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加。・全職員参加の運営、処遇改善に向けた取り組み。 利用者・入居者の「豊かな生活」を実現するためには、介護従事者だけでなく、家族・地域住民との連携が不可欠です。家族介護者への支援、家族介護者の課題や悩みなどから施設と家族（家族会）、施設と地域の繋がりをなど、『家族』『地域』について議論を深めましょう。 ・家族会活動の現状と課題、家族とのケアパートナーシップ ・家族等介護者への支援と課題、家族介護の家族の本音とその支援 ・介護者のネットワークづくりの現状と課題、地域のインフォーマルな共同組織活動 ・施設における地域貢献活動内容の現状と課題	富山 しらいわ苑 施設長 加藤 まゆみ	
E	福祉施設における事務の役割を考える	E	事務の役割を考える	千葉 やわら木苑 施設長 阿部 孝志	宮城 宮城厚生福祉会 事務局長 大内 誠	
F	家族や地域との関わりを考える	F	家族や地域との関わり	石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修	
G	「ちょっと聞いてよ、私の話」	G	集え！発表初心者・とにかく語りたい人。	A～Fの分科会に少し合わないと思われる方、発表経験が無い・少ない方で「こんな初歩的なことで良いの？」「ハードルが高い」等、人前で発表する機会をもちたいが躊躇してしまう方、短時間でも大丈夫です。経験の為に活用できる分科会です。	京都 原谷こぶしの里 施設長 介山 篤	

分科会演題募集

職員研究交流集会の分科会には毎年 100 本を超えるレポートが提出され、有意義な実践交流が図られます。日々豊かな実践を積み重ねている全国の皆さんの報告を、全国の仲間と分かち合いませんか。あなたの実践は、他の仲間の『希望のあかり』になるかもしれません。

分科会一覧表をご参照の上、発表をご検討ください。

今年は「ちょっと聞いてよ、私の話」と題して、テーマ設定に縛られない分科会を設定しました。発表の形式にとらわれず、どなたでもチャレンジしてください！若手職員の発表デビューの場としても活用いただきたいと思います。

発表いただける方は、以下をご覧の上、エントリーをお願いいたします。



① エントリー 提出期限 8 月 31 日(木)

エントリーは 21・老福連のホームページから

トップ画面

「交流誌・集会資料等」をクリック



「職員研究交流集会」をクリックし、
「分科会の演題発表エントリーはこちらから」
をクリック



演題エントリーフォームの必要事項を入力し、
送信を押してください

- 送信後、ご入力いただいたメールアドレス宛に確認メールが届きます。必ず内容の確認をお願いいたします。(メール不着の場合、エントリー失敗の可能性あります。その際は別記、お問い合わせ先までご連絡ください)
- エントリー受付後、分科会によって演題数に大きな差異が生じた場合は演題数の調整を行います。希望する分科会から別の分科会に移っていただくこともありますので、予めご了承ください。



-9-



③ パワーポイントについて 提出期限 10月31日(火)

【パワーポイントを使用して発表される場合】

・使用機材について

発表に使用する機材は Windows パソコン・プロジェクターとし、主催者側で準備いたします。スピーカー、DVD プレイヤー、レーザーポインター等はありませんのでご注意ください。

・データ形式について

データ形式は以下の通りとします。

- a) 使用ソフトウェア : パワーポイント
- b) 動 画 : 環境に依存し、再生が担保出来ないため使用不可
- c) フォント(書体) : Windows 付属の標準フォントをご使用下さい

・発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンにパワーポイントのファイルをコピーしておきます。予め動作確認等は主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的に操作は各自が責任を持って行ってください。ご不明な点がありましたら、下記に連絡をお願いいたします。

・データの事前提出

予め発表データを下記住所に送付いただきますようお願いいたします。提出は CD-R または DVD-R にてお願いいたします。提出いただいたデータは返却をいたしませんのでご了承ください。

提出期限：10月31日(火) 必着



当日配布資料は、参加者用として各自で印刷の上、ご持参ください。必要な部数は、参加者数が確定してからお伝えします。

送付先 お問い合わせ先はこちら

お気軽にお問い合わせください

〒659-0043 兵庫県芦屋市潮見町31-1

電 話:0797-34-9287 Fax:0797-34-9292

あしや喜楽苑 (担当:前川)E-mail: 21roufukuren@gmail.com (研究集会期間中のみのアドレスになります)



今年のテーマは!!

めっちゃえやん 福祉の仕事

めざましい実践を語り合い

希望のあかりで照らし出そう!

21・老福連 第17回職員研究交流集会-「神戸」

開催日程&会場!

12月

11日(月)

10日(日)

9日(土)

神戸市勤労会館

(兵庫県神戸市中央区)

トリー横め切りは8月3日

21・老福連とは

「21・老福連」の正式名称は「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」です。

1988年「介護保険・全国老人ホーム施設長アンケート」をきっかけにして2001年に設立しました。介護保険が導入される中、福祉と福祉労働の保障と発展のために「豊かな援助実践」と公的福祉の確立を目指す動きを促しています。

職員研究交流集会とは

「職員研究交流集会」は全国で働く仲間が多くの実践報告・研究等を発表し、学び、悩み、語り合いそして元気を分かち合う場です。年に1回開催し、兵庫県神戸市で行われる今年の大会で第17回となります。昨年の「愛知大会」では全国から330名の参加があり分科会では101演題の実践報告がありました。

21・老福連・職員研究交流集会 神戸で開催決定! 第1号

実行委員会長挨拶

第17回職員研究交流集会-「神戸」

鎮魂と未来を拓くルミナリエの神戸へ

介護の現場で日々、頑張っている皆様。

第1回職員研究交流集会を神戸の地で開催して以来、16年を経過しましたが、第17回職員研究交流集会を12月9日から11日まで、「ルミナリエ2017」の点灯とともに、神戸で集会を開催することになりました。

介護保険法施行以来、厳しい状況が続いていますが、私達は目の前の高齢者と向き合い、より良い介護実践を積み重ね、職員研究交流

集会に持ち寄り、交流を深めてきました。

第17回職員研究交流集会のテーマは

「めっちゃえやん 福祉の仕事

くめざましい実践を語り合い 希望のあかりで照らし出そう!

」となりました。実行委員会を何度も開催し、思いを出し合い、

今年のテーマを決定し、

“私たちの仕事 介護の魅力を神戸の地から発信したい!”

関西はひとつや!”

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地方を襲った震度7の阪神淡路大震災は、一瞬にして人の暮らしと街を破壊し、

多くの尊い命が失われました。深い悲しみと瓦礫の中でも夢を失わず、復興再建させてきました。犠牲者に対する鎮魂と暮らし再建への希望を見出して生まれた「神戸ルミナリエ」は、今年で23回目となり、震災の記憶を語り継ぎ希望を象徴する荘厳なあかりを12月8日から灯します。

そんな集会になるよう運営していきます。

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

「ルミナリエ2017」のあかりとともに、私たちが「21・老福連 第17回職員研究交流集会」も12月9日から11日まで開催します。集会で介護実践を学び、私たちが生きていく今を語り合い、大いに交流し、そして、ルミナリエを楽しみ、みなと神戸の異人館を歩いてみてはどうでしょうか。

今年は神戸港開港150年を祝う年であり、コーナーも映画も神戸牛も、そしてシャブも初めて神戸港からやってきました。ぜひ、神戸牛を食ぐ、神戸スーッとコーナーを堪能し、シャブを堪能ながら介護の話で盛り上がり、楽しいなあと思います。

21・老福連の共同

理念は、「豊かな援助実践」と公的福祉制度の確立を」ということであり、介護の現場から多様で生き活きた介護実践を全国から持ち寄り、「めっちゃえやんー福祉の仕事」元気をもらい、共感し合いましょー!

全国の施設長、職員の皆様!

「ルミナリエ2017」の幻想的なあかりが灯る神戸へ、全国各地で福祉の仕事を頑張っている皆様の参加をよろしくお願い致します。

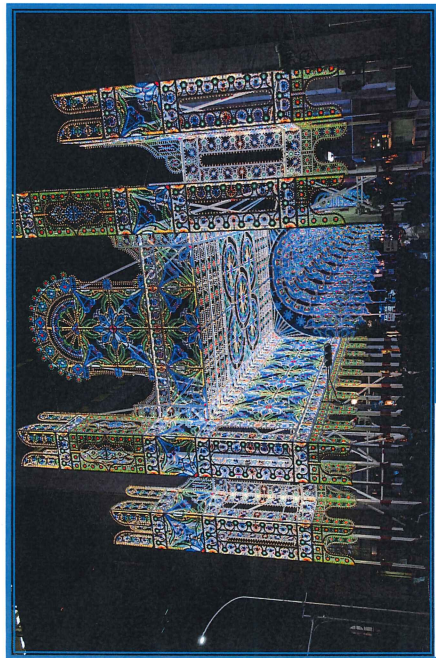
“神戸で待つところでネー!”

実行委員長 狭間 孝
(社会福祉法人甲山福祉センター常務理事 施設統括部長)

神戸には見どころや名所がたくさん!



せっかく神戸に来るんやし見ていってや~



©Kobe Luminarie O.C.

神戸ルミナリエ 夢灯す 光の彫刻

交流会が開催される12月9日~11日の間、神戸の街はルミナリエの光に包まれている。神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災が起こった1995年から犠牲者への追悼と鎮魂の意を込めるとともに、神戸の街の復興を強く願い開催されたのが初めてで、今年、2017年で23回目を迎える。会場は旧外国人居留地及び東遊園地。JR・阪神元町駅より徒歩7分、21時半まで点灯している。ルミナリエの光を目に焼き付けよう!

神戸は開港150周年記念!

平成29年1月1日に神戸港が開港150年を迎えるにあたり、今年には150周年記念として様々なイベントが開催されている。12月にはこんなイベントが開催されるのか、要チェックー。



エントリー※切8月31日!

演題目標120本!

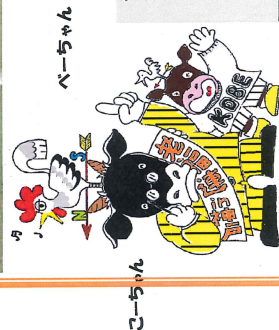
実践報告とディスカッションで自信と元気をUP!!

私たちが実行委員です!



神戸にお待ちしております!!

だんねんごい参加を



今回の21・老福連研究交流集会は神戸の広報誌は僕たち神戸牛の二人が兵庫県にある甲子園球場にちなんで、スポーツ新聞風にお届けします! 楽しみにしてください!

21・老福連 第17回職員研究交流集会 in 神戸 ～参加・宿泊等のご案内～

【1】お申込方法のご案内

- ① 参加者は申込書に必要事項を記入の上、10月10日(火)までに名鉄観光へFAX又は郵送にてお申込下さい。電話による申込はトラブルの原因となりますのでご遠慮ください。

お申込締切日 2017年10月10日(火)厳守願います

- ② お申込受付後、11月上旬に名鉄観光より参加確認書(参加券・宿泊案内など)と請求書・振込先をお送りいたします。
- ③ 請求書をご確認の上、**11月24日(金)**までに指定の振込口座へお振込み下さい。
- 振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

【2】21・老福連第17回職員研究交流集会 in 神戸 参加費のご案内

参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	7,000円	9,000円	10,000円

【3】宿泊のご案内

ご宿泊期間 2017年12月9日(土) 12月10日(日)

記号	宿泊施設名	部屋タイプ	料金(お一人様) 12/9(土)	料金(お一人様) 12/10(日)	最寄り駅からのアクセス
1	サンサイドホテル	シングル	10,500	10,500	三宮 徒歩5分
2	ホテルグリーンヒルアーバン	シングル	10,500	10,500	三宮 徒歩10分
3-S	神戸三宮ユニオンホテル	シングル	10,500	10,500	三宮 徒歩10分
3-T		ツイン	11,500	11,500	
4	サンルートソプラ神戸	シングル	16,200	10,000	三宮 徒歩10分
5	東横イン神戸三ノ宮1	シングル	9,720	8,640	三宮 徒歩10分
6	東横イン神戸三ノ宮2	シングル	9,720	8,640	三宮 徒歩5分
7	ダイワロイネットホテル神戸	シングル	16,000	12,000	三宮 徒歩5分
8	第一グランドホテル神戸三宮	シングル	14,000	9,000	三宮 徒歩10分
9	チサンホテル神戸	シングル	11,000	8,500	神戸 徒歩5分
10	ホテルクラウンパレス神戸	シングル	18,900	14,580	神戸 徒歩5分
11	ホテルサンルートアネッサ神戸	シングル	15,660	12,960	新開地 徒歩5分
12	ホテルサンメンバーズ	シングル	10,800	10,800	新神戸 徒歩3分
13	アリストンホテル神戸	シングル	12,000	12,000	みなとじま駅 徒歩5分

★同室希望の方は、参加申込書該当欄にご記入下さい

★宿泊申込の際上記記号をご記入下さい(例 神戸三宮ユニオンホテル シングルの場合: 3-S)

★ホテルは先着順です。第一希望、第二希望とも満室の場合、表記以外のホテルもご案内させていただきます。

【4】交流会のご案内

期日: 2017年12月9日(土) 時間: 19時00分～ 会場: ザ・マーカススクエア神戸
交流会費: 9,000円

【5】お弁当のご案内

希望販売にて注文を承ります。ご希望の方は申込書にご記入下さい。

お弁当配布日: 12月10日(日) 昼食(お弁当) お一人 1,000円

【6】変更・取消についてのご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要となります。変更・取消の場合は必ずFAXまたは郵送でご連絡下さい。

また、変更・取消後のご返金については、本大会終了後速やかに行いますのでご了承下さい。

取消日	参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
申込後	100%	無料	無料	無料
21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
20日目にあたる日以降の解除	100%	20%	無料	20%
7日前にあたる日以降の解除	100%	30%	無料	30%
旅行開始日前日の解除	100%	40%	100%	40%
旅行開始時当日の解除	100%	50%	100%	50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

★上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引いて、大会終了後に清算いたします。

★変更・取消などによる組成さんは大会終了後に指定の口座へお振込み下さい。

(事務手続き上、多少お時間をいただきますので予めご了承下さい)

★大会当日のご返金は事務手続き上できません。

【7】参加申込・宿泊・交流会・お弁当手配等についてのお問い合わせ先

〒530-0027 大阪市北区堂山町3-3 (日本生命梅田ビル10F)

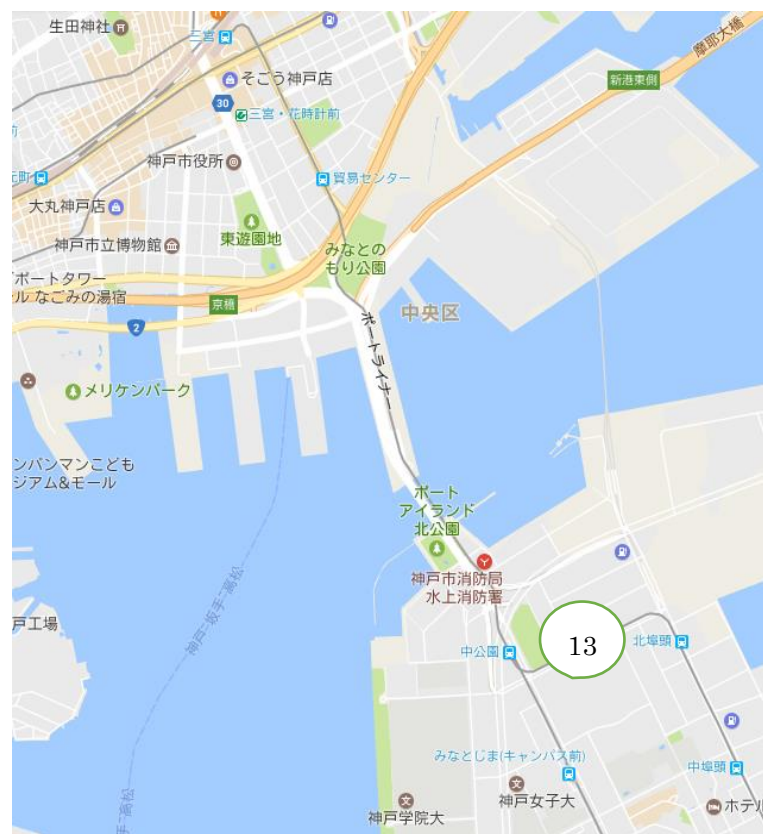
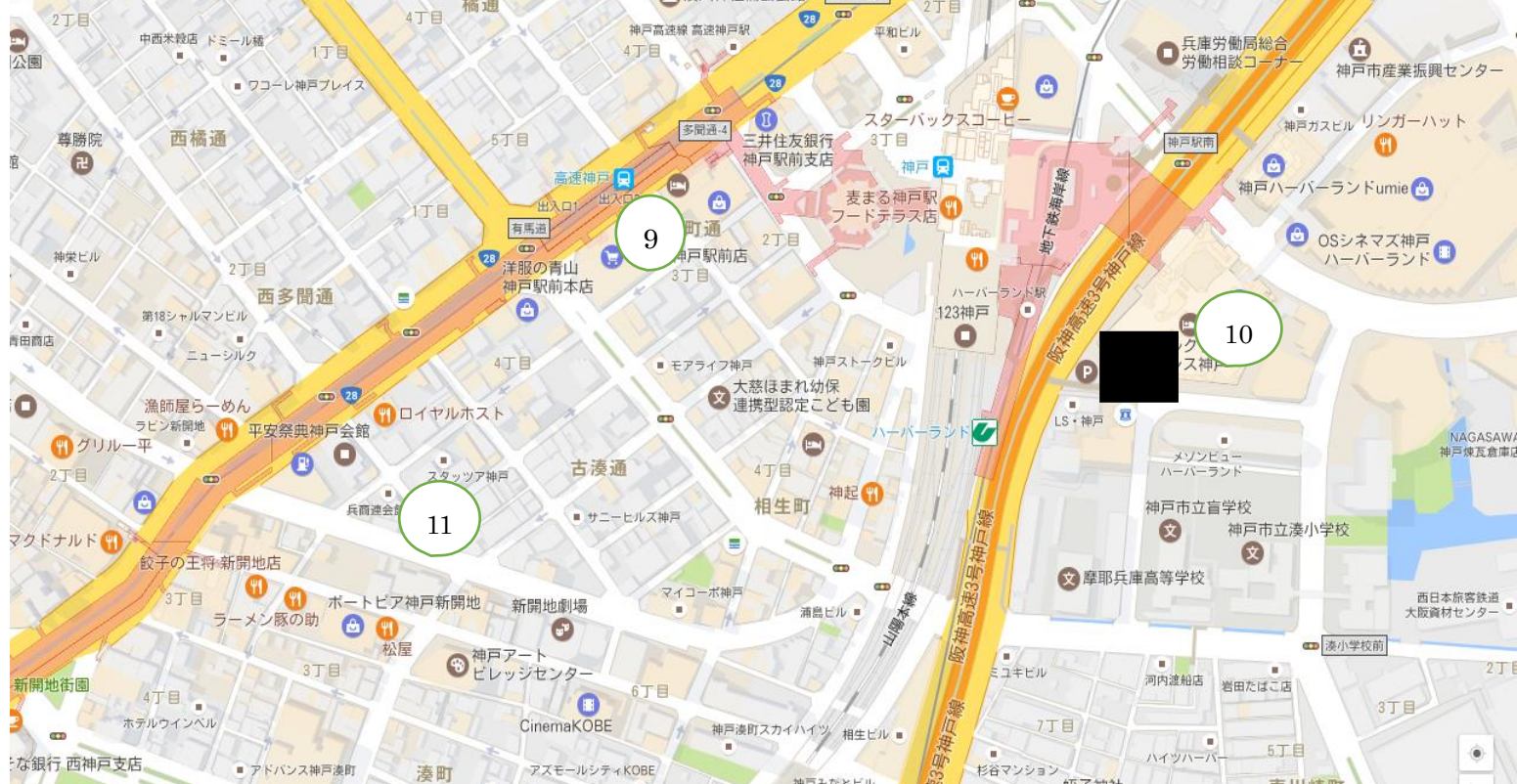
名鉄観光サービス(株) 梅田支店 『21・老福連 第17回職員研究交流集会』係

担当：進導(しんどう) 井上(いのうえ) 蜂須賀(はちすか)

TEL: 06-6311-6621 FAX: 06-6311-6657

営業時間 9:00~18:00 (土・日・祝日休み)





【大会会場までのご案内】

★全体会・分科会場 神戸市勤労会館

所在地	〒651-0096 神戸市中央区雲井通 5 丁目 1-2
電話	078-232-1881
交通機関	市営地下鉄・JR・阪急・阪神・ポートライナー各三宮駅から東へ徒歩 5 分

■交流会会場 ザ・マーカススクエア神戸

所在地	〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-3-5 クラウンパレス神戸内
電話	078-367-1357
交通機関	JR 神戸駅より徒歩 2 分

21・老福連 第17回職員研究交流集会 in 神戸 参加申込書

送 信 先

名鉄観光サービス(株)梅田支店 担当:進導 井上 峰須賀行 FAX 06-6311-6657

申込日 2017 年 月 日

県名	県		施設名		
住所	〒	―	担当者	氏名	
			TEL:		
			FAX:		

No.	フリガナ 参加者氏名	性別	職名	参加費			交流会		弁当		宿泊希望日			分科・分散会			備考		名簿への氏名記載の可否※記入漏れの場合可能と判断させていただきます
				1日間参加費 7000 円	2日間参加費 9000 円	3日間参加費 10000 円	12/9 (土)	12/10 (日)	12/11 (月)	12/9 (土)	12/10 (日)	12/10 (日)	12/9 (土)	12/10 (日)	12/10 (日)	第1 希望	第2 希望	役割	
例	ヒョウゴ タロウ 兵庫 太郎	男	施設長	○	○	○	○	○	○	○	第1希望	1	12/9	12/10	第1希望	第2希望	座長	禁煙 喫煙	×
1																			
2																			
3																			
4																			
お申込金額計算欄				参加費計		交流費計		宿泊費		12/9 泊計		12/10 泊計		弁当代計		合 計		円	

<注意事項> ※禁煙・喫煙はご希望に添えない場合があります。※郵送の場合は必ず控えをおとりください。※5名以上の場合はコピーしてお使い下さい

<返金口座記入欄>(返金の際、手数料は差し引いて下記口座にて清算致します。口座名義はカタカナにてご記入下さい) ※記載された個人情報、運営管理の目的のために使用致します。

金融機関	銀行	支店	口座番号	普通・当座	口座名義
------	----	----	------	-------	------

※ 1 日目、3 日目の全大会には手話通訳・要約筆記があります。2 日目の分科会にて必要な方は「現地実行委員会事務局」までご連絡をお願い致します。

<弊社使用欄> 上記受領いたしました
月 日 受付者 No.